

NOZOMI

Stand Out! ～次世代がより豊かになる^{まち}仙台へ～

トヨタ自動車東日本株式会社
代表取締役会長

公益社団法人 仙台青年会議所
第70代理事長

白根 武史 × 菅原 啓太

Special Talk



03 | 理事長対談

ひとづくりからものづくりを極める
豊かな人材が東北の未来を切り拓く

Contents

02 | 理事長挨拶・次年度理事長挨拶

08 | 事業報告

13 | 新入会員紹介

15 | 編集後記



<https://www.sendai-jc.or.jp>

公益社団法人 仙台青年会議所 2021年度広報誌

本誌は仙台青年会議所の運動を幅広く一般の方々に発信するための広報誌です。
仙台青年会議所公式ウェブサイトでも本誌に掲載された内容をご覧いただけます。



2021年度 理事長挨拶



公益社団法人仙台青年会議所
第70代理事長 菅原 啓太

平素より当青年会議所に対し、格別のご高配を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

本年は、第52回仙台七夕花火祭や第34回国際アカデミーin仙台をはじめ様々な事業を実施させていただきました。多くの方々からお力添えを賜りました。関係する全ての皆様にお礼申し上げます。第52回仙台七夕花火祭では複数個所での打ち上げという初めての試みに対し、関係各所の皆様からご賛同と実現に向けたご支援をい

いただきました。第34回国際アカデミーin仙台では、海外との渡航制限がある中での国際事業となりましたが、市民の皆様にもご参画いただき、まちの更なる発展に向けたネットワーク構築につながったのではないかと考えております。皆様への感謝を込めて、本年の事業で積み重ねた経験をこれからの活動に活かし、まちの持続的発展に貢献して参ります。

私たちは本年、2026年に向けて活動の指針となるビジョンを描きました。ビジョンには私たちが描くまちの未来像が記されており、ビジョン達成を通して「しあわせを共感できる仙台」を実現していきたいと考えております。「このまちに生まれてよかった」とより多くの市民の皆様が感じることができ、そんな未来を共に創って参りましょう。2021年度の活動に対し、ご理解とご協力いただきました全ての皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

2022年度理事長予定者挨拶



公益社団法人仙台青年会議所
2022年度理事長予定者
八重樫 司

公益社団法人仙台青年会議所2022年度理事長の職をお預かりすることになりました八重樫司と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

2022年度のスローガンは「Carry Out!」志高く仙台の未来を切り拓こう」としました。「Carry Out!」には「実行する・成し遂げる」という意味があります。様々な制限がある中でも、私たちは行動し実行しよう！成し遂げよう！という想いを込めてスロー

ガンとしました。

70周年を迎えた本年度から新たな1歩を踏み出す年度として、「仙台に必要とされ続ける組織」となるべく、組織改革・組織ブランディングの強化にも取り組んで参ります。

また、過去10年をみても最少人数でのスタートとなりますが、JC運動の可能性を大きく広げ、地域によりインパクトを与える組織へ成長するために、会員開発委員会を特別委員会へ変更させていただきました。会員の拡大・育成にも力を入れて参りますので、新入会員ご紹介も何卒お願いいたします。

人は、他者と関わり、他者との繋がりの中で自分を表現していくことで大きく成長し、人は、人によって磨かれる。多くの同志と共に、切磋琢磨しながら、志高く仙台の未来を切り拓く運動を展開して参ります。

2022年度の公益社団法人仙台青年会議所もどうぞよろしくお願いいたします。申し上げます。



Takeshi Sirane × Keita Sugawara

Special Talk

理事長対談

トヨタ自動車東日本株式会社
代表取締役会長

公益社団法人 仙台青年会議所
第70代理事長

白根 武史 × 菅原 啓太

ひとつづくりからものづくりを極める 豊かな人材が東北の未来を切り拓く

トヨタ自動車東日本株式会社代表取締役会長 白根 武史氏は、東日本大震災の凄惨たる光景を目の当たりにし、自動車業界のリーディングカンパニーとして、この東北の地の復興を固く決意しました。あれから10年、東北経済の発展に向けて尽力する中で、様々な困難を課題解決してきたトヨタスピリッツ。そして、ものづくりに携わる会社だからこそ大切にしているひとつづくりの秘訣をお聞かせいただきました。

菅原理事長（以下、菅原） 本日は、トヨタ自動車東日本株式会社 代表取締役会長 白根 武史様にお話を伺いたいと思い、対談をお願いさせていただきました。よろしくお願ひいたします。

白根会長（以下、白根） はい。よろしくお願ひします。

菅原 私たち、仙台青年会議所（以下JCI-仙台）は、より良い地域やまちづくりのために積極的に関心を持っていただけるような人たちを増やして、共にまちの課題解決に取り組みたいと考えております。

その中で、御社の地域に対する関わり方は非常に奥深いものがあると感じております。

企業として地域に貢献していくひとつづくり、まちづくりに関してお聞きしたいと思います。

トヨタ東日本のひとつづくり

白根 私がトヨタ自動車東日本株式会社を任された経緯からお話しします。2011年の東日本大震災の発災当時、私は生産、物流、製造を統括する役目におりました。それで、震災直後に急遽対策本部を設けて、本部長として全体を指揮しておりました。

被災地に足を運べたのが6月中旬でして、対策本部長という立場上、現地になかなか足を運べない状況でした。発災から4カ月経ってやっと現地に行くことができました。釜石から石巻ま

で通れるところを通って見て回りましたが本場に復興できるのか、人はこの地に戻ってくるのだろうかと思ひました。そのような状況下で「トヨタ自動車東日本を引つ張って欲しい」と豊田章男社長（トヨタ自動車株式会社代表取締役社長）から任されました。東北のために何ができるのか、復興の一端を担えることに武者震いしたのを覚えております。



また、東北には数多くの伝統工芸品があり、そこを視察していく中でもひとつづくりの基本姿勢を学ばせていただきました。それと時を同じくして、2013年4月にトヨタ自動車東日本の企業内訓練校を立ち上げました。東北内の従業員として採用した東北出身の工業高校卒業生15名と東北地域企業の社員5名の計20名で1年間、現場の柱になる人間を育成するというミッションでした。今まで合計で740名を輩出してあります。豊田英二さん（トヨタ自動車株式会社第5代社長）は、「ものづくりはひとつづくりである。ものを

つくるのは人だからひとをまず育てないと始まらない。」と言いました。それが、トヨタの原点になります。

菅原 ありがとうございます。宮城県をはじめ東北の人たちの人間性は素晴らしいと地元の間人ながら思うことが多々あります。ただ、全国的に見れば、まだまだアピール不足で、東北全体を見たときに、宮城県では仙台市がリードしていく立場にならないといけないと考えています。要するに人が集まる場所にまちが出来て、そこから経済圏ができていくと思います。仙台でできないのであれば、東北に経済圏ができないことになると思っております。

仙台がより持続的に発展していくには、青年経済人がどのような視点を持って、事業や地域活動に取り組むべきか何かお考えはありますでしょうか。

白根 仙台は東北の玄関口ですよね。その役目や責任は大きいと思います。

関東圏と仙台がしっかりとつながることで、仙台を含めて各東北の県が関東圏とつながっていく流れが波及効果として期待できると思います。そのためには、仙台に本社や支社を置く会社を増やして、東北全体に定着を図っていくことが重要であると思います。

その次は、学校や教育を充実させないとダメだと思います。そうしないと、子供がある程度大きくなってしまったら他の地域に流出してしまうと思います。東北は私立が少ないです。ですから、高校を出て大学生になろうと

をされたりしますか。

白根 そうですね、元々トヨタには「なぜを5回繰り返せ」というのがあります。最初の「なぜ」で「なんでこうなるの」もつと考えると「それはどうしてなの」という形で突き詰めていくということを若い時からずっと言われ続けてきて、それを自分で考えるところと、実際に現場でやっていることに対して、「今、何が困っているだろう」「どこがネックだろう」というのを一つひとつ解いていくサイクルを徹底してやるということがあります。

例えば、宮城大衡工場で作っているシエン

という人は自分でやりたい勉強の選択幅が東北ではものすごく狭いと思います。やはり、教育環境が定着に与える影響は大きいですね。

トヨタの課題解決

菅原 ありがとうございます。続いて、課題解決に取り組んでいく点をお聞きしたいと思っております。御社の中でも課題や問題の見つけ方というのは、その当事者の方に徹底的にヒアリング

タという車があります。あれは、組み立てのラインで人が内張を貼るために人力でバックドアを開ける必要があります、これを何とかからくりを使って人なしでやれる方法がないかと、上司から当時31歳の若い社員が宿題を与えられました。

それで、彼が考えたのが、風船で開けることでした。バックドアの隙間に膨らんでない風船の先を差し込んで圧力をかけて、その風船を膨らまして開ける方法でした。しかし、どんな風船

を使っても割れてしまいます。彼は困り果て、他の方法を考えるしかないと思い、ボクシング中継を見ていると、ラウンドとラウンドの合間で選手を後ろから氷嚢で頭冷しますよね、そこでひらめいてこれ使ってみようと思う翌日、氷嚢を買って、風船代わりで氷嚢をその先につけてあげたら全然割れませんでした。試行錯誤の中で追い込まれている状況下だからこそ、いい解決案がないかなということを考えていて、ボクシングを見たときにそれがピツとつながったわけです。頭の中に意識していることがふとした瞬間につながって、それが改善につながるものです。

菅原 個人的な印象になりますが、御

社は、「超能動的組織」ではないかと思いました。私たちがそういう姿勢や考え方を周りの方に持つてもらったための何か秘訣はありますか。

白根 やはり、その組織の上司がどのように改善の魂を若い人間に植えつけたらいいか、すごいエネルギーをかけて必死に日々考えていくことです。だから、JCも組織的にピラミットになつていてと思いますが、大事なのは、その一人ひとりが1年間やる限りは、とことんやってみたらどこまでやれるだろうと思うかどうかです。そのことを思わせるかどうかは、物凄く大事です。そういう熱を帯びている人がやたらとその組織にいれば、もう活性化するに決まっています。

菅原 私も大変重要なことだと思っていました。私たちも毎年会員を増やすことに力を注いでいますが、会員一人ひとりが情熱を持っていることが会員拡大の要だと思っています。それを理解している人たちが少ないので、それを会員の皆さんに伝えて、理解させることが出来る人も少ないのが現状です。

まず、その必要性から理解しないといけない。理解している方はいるので、その共感を増やして会員拡大をしていかないで、入会しても何もせず終わってしまいます。いつの間にか会員数を増やすことが





目的になってしまい、手法が目的化してしまうという状況がよくあるパターンです。

白根 表面上でしかつながっていない組織はよくないです。熱を帯びた会員を1人ずつ増やしていき、毎年どれだけ熱の塊の核になるような人間が集まるかが、組織の成長に必要な要素です。

菅原 そのことが組織には非常に重要だと思います。

仙台に思うこと

菅原 話は変わりますが、続いて白根会長が仙台に対して思う仙台の魅力や課題についてお聞かせください。

白根 仙台は歩いて、必要なものは全て揃う素晴らしいまちだと思います。食べるものにしても全国の色々なものが揃っており、石巻や塩釜など本場に素晴らしい漁港や海、観光する場所はいっぱいあります。本当に恵まれた土地だなと思います。東京のようなエキサイティングなまちに、どういうふうにしたら近づけるかを考えてもつまらないので、仙台にはやっぱり仙台の良さがあるのですね。それを活かしてほしいと思います。

仙台は仕事をリタイアした後に戻ってきて再び住む人も多いと聞きます。仙台に何の所縁もない人が支店長をやっていたときに仙台の良さに馴染んで、リタイアしたら戻ってくるという話も聞きます。

菅原 よく聞くのは、仙台は何もないという言葉が地元の人からは聞くことがあります。私はそうではなくて、実は結構あるということを知らないだけじゃないかなと思います。便利なアクセス環境が生活圏を必要以上に広げずに組んでいけるので、非常に住みやすいまちだと思います。



白根 その通りだと思いますね。大都市では毎朝、毎晩遅くまで遠いところから通って、通勤だけでエネルギーの半分ぐらい使ってしまうように思えます。コロナ禍でリモートを駆使して在宅勤務をみんながやるようになって、今まで何をやっていったんだろうと気づいた人はたくさんいるのではないかと思います。そういう人が仙台の魅力を知ると、やっぱり住みたくなるまちだと思います。例えば、大都市に住んでいる方が人間としての原点はどこにあるだろうと考えるわけです。きっと、会社への通勤にエネルギーを使い果たして、会社では上司に叱られて。そうしたときに自分の原点はどこにあるのかを見出そうとしたときに自分の時間に没頭する趣味でもいいし、昔の学生時代の友達と食べて飲んででもいいし、なんでもいいです。そういう、自分の時間に浸れる時間

をいかに作っていくかが、自分の原点に立ち返る大きな部分になってくるのではないかと思います。自分の原点に帰れるというその技、手法をいっぱい持っている人ほど人生は豊かだと私は思います。大変な状況からいかに合間、合間で自分を原点に戻せるかだと思います。そういう時間は、人間の生活を営む上で、ものすごく重要になるところだと思います。

その点で仙台は、生活を営む上で不自由な環境や素晴らしい自然があるし、恵まれているアドバンテージを持っていると思います。

豊かさとは

菅原 JCもですが、「豊かさ」という言葉を頻繁に使います。日本青年会議所全体としては「明るい豊かな社会を目指す」という目標があります。私



の社業である清月記も命の物語応援会社として冠婚葬祭業が中心ではありませんが、様々な事業やお客様とどう関わっていくかは、お客様の人生をいかに豊かにできるかだと思います。それを軸に事業をやっています。白根会長にとって、「豊かさ」とはなんでしょうか？

白根 自分に余裕が持てる環境や自分の好きな時間を使うことで、自分の原点、自然体いかに戻れるかだと考えます。その方策をいっばい持つ人ほど、「豊かさ」に近い、私はそう思います。自分が自然体であることが一番です。間違えてはいけないのは、進歩がない自然体は駄目です。人間は成長しないといけません。仕事は、大変な時は大変です。これを通り抜けてきて追い込

まれて、追い込まれて、ぱっと光が差してくるというような経験で、人が育ちます。いろんな人と会って接触する。それが、人間の成長の中でとても大事な部分だと思えます。だから、うちの会社ではみんなに言っています。「会社に入って、あの人にも会えた、この人にも会えた、それがやっばり自分の肥やしになっていること、ある年齢になつたら気づくよ。」という話をよくします。人と会う、人に教わる、全ての経験が素晴らしいということではないけれど、自分にあれがいいなと思ったら一生懸命それを真似ようとする。そういうのがずっと積み積もってきて、最終的に自分の成長につながります。だから、いろんな人に会ったときに、大事にしないでいいのはやっばり「レスポンス」ですよね。打てば響く「レスポンス」。それが誠実さであると思います。



菅原 レスポンスは大事だと思います。

白根 私は、「レスポンスが大事だ。最初の3年が勝負だぞ。」と言います。野球でいえば三遊間のゴロに飛びつけと。最初からこれはショートだ、これはサードだなんて言ってる場合かと。三遊間のゴロが飛んできたら2人とも飛びつけと言います。

菅原 JCI仙台を利用して、例えば本日のように会長にお会いできたように、うまくそういう場面を自分たちの成長のチャンスにつなげてもらうことは非常に面白いと思います。JCI仙台もレスポンス、レスポンスと言うので、その量が増えれば増えるほど、活動を振り返った時にここまでやってきてよかった、色んな人との出会いに感謝することが訪れてくると思います。我々も白根会長にお教えたいただいたことを大切にしなければいけないと改めて感じました。本日は色々興味深いお話ありがとうございました。

白根 武史（しらね たけし）

トヨタ自動車東日本株式会社
代表取締役会長

東北経済連合会副会長、仙台経済同
友会副代表幹事も務める。

1977年にトヨタ自動車工業（現・
トヨタ自動車）入社。

生産管理や調達部門を経て2005
年同社常務役員、2009年専務取
締役。

2012年トヨタ自動車東日本設立
と同時に同社代表取締役社長に就任。
2019年より同社代表取締役会長。

第34回国際アカデミーin仙台 プレ国際アカデミー開催

7月11日(日)

プレ国際アカデミー開催

7月11日(日)宮城県仙台市にて第34回国際アカデミーin仙台プレ国際アカデミーが開催されました。

国際アカデミーは国際青年会議所(JCI)の事業として毎年日本各地で開催され、国内から約100名、海外から約80名の青年会議所メンバーが集い、国際レベルで活躍するリーダーとなるためのトレーニングを行います。

プレ国際アカデミー当日は、全国から現地・オンライン参加にて、約100名の青年会議所メンバーにお集まりいただきました。

伊達武将隊の支倉常長さんによる仙台の歴史と文化を学ぶモジュールから始まり、ナイジェリアからのオンライン中継によるJCIコースリーダーのパスカル・ディケイ氏によるプレ国際アカデミーのモジュール、2021年度JCI街頭小嶋隆文君による国際の機会の魅力を伝えるモジュールの3部構成で行われました。



新入会員バッジ授与式 及び第8回例会

7月29日(木)

バッジ授与式・第8回例会をハイブリットにて開催

7月29日(木)新入会員バッジ授与式及び第8回例会を実地・WEB配信によるハイブリットにて開催しました。

バッジ授与式では、仮会員セミナーI・II、各種セミナー、例会などの正会員になるためのステップをクリアした16名の新入会員にバッジが授与されました。

また、バッジ授与式の後に開催した第8回例会は、仙台青年会議所会員が、コロナ禍における仙台七夕花火祭の開催方法、警備面での課題と対応、感染症対策について必要な知識を正しく身につけるとともに、主催者としての責任と自覚を認識し、安全・安心かつクリーンに事業を行うことの重要性を理解するための機会としました。



令和3年7月

熱海市土石流災害 街頭募金活動

7月10日(土)・11日(日)

街頭募金活動のご報告

7月10日(土)11日(日)仙台青年会議所メンバーにて、令和3年7月熱海市土石流災害の支援を目的に街頭募金活動を行わせていただきました。多くの皆様よりご支援いただき2日間合計で円494,912円集まりました。

なお、お預かりさせていただきました支援金は、被災者支援金として、JCI熱海を通じて、全額寄付させていただきました。



サマコン2021開催！ 7月17日(土)・18日(日)

「サマーコンファレンス2021彩の結節点」開催

7月17日(土)、18日(日)日本青年会議所主催「サマーコンファレンス2021彩の結節点」が横浜にて開催されました。

サマーコンファレンスは毎年、日本青年会議所の会員が自身の学びや、年間の運動を広く発信するために各界を代表する著名な有識者をお招きし、様々なジャンルのファンクションが開催されます。

本年度開催のサマーコンファレンスは感染症対策を徹底し、現地・WEBのハイブリット方式にて開催いたしました。

仙台青年会議所の会員も多く日本青年会議所へ出向しており各ファンクションの企画・運営を担当しておりました。

なお、仙台でもサテライト会場を設けたWEB配信を実施し、多くのメンバーで視聴しました。



仙台七夕花火祭安全祈願 8月4日(水)

第52回仙台七夕花火祭に向けた安全祈願のご報告

8月4日(水)、第52回仙台七夕花火祭に向けた安全祈願を櫻岡大神宮にて行いました。

菅原理事長をはじめとする常任理事会構成メンバー及び監事、そして、齋藤特別委員長をはじめとする七夕花火祭特別委員会のメンバーが参列し、8月5日(木)に開催する仙台七夕花火祭が安心・安全に開催でき、市民の皆様に「笑顔」を届けることができるよう一同で祈願いたしました。



第52回仙台七夕花火祭開催！ 8月5日(木)

初のWEB配信も実施した第52回仙台七夕花火祭の開催

8月5日(木)第52回仙台七夕花火祭、「笑顔～未来^{とも}を灯し、より豊かになる仙台へ～」をテーマに開催しました。

本年の七夕花火祭は新型コロナウイルス感染予防対策のため規模を縮小し市内5カ所にて、場所・時間は非公開で計475発の花火を打上げました。

また、各打上げ会場をご家庭でも見れるよう初のWEB配信も実施しました。WEB配信は、約9,000人と大変多くの方々に見ていただきました。



動画はこちらにて公開中



第52回仙台七夕花火祭御礼挨拶



公益社団法人 仙台青年会議所
七夕花火祭特別委員会
特別委員長

齋藤 恵太

8月5日(木)に実施しました第52回仙台七夕花火祭は、コロナ禍での開催となりましたが大きな問題もなく無事に実施することができました。仙台七夕花火祭開催に際して、ご協力をいただきました皆様、お力添えをいただきました皆様にあらためて感謝を申し上げます。

本年の仙台七夕花火祭は、「笑顔～未来^{とも}を灯し、より豊かになる仙台へ～」をテーマに、仙台に笑顔が溢れ、地域を愛する気持ちが広がってほしいとの想いを込めて、市民の皆様から仙台の未来に向けたメッセージや、これまでの仙台七夕花火祭にまつわる思い出に残るエピソードをお寄せいただき、たくさんの方のご協力のもと開催しました。8月5日の花火打ち上げは、無観客での開催となりましたが、仙台市内5箇所ですら約5分間の花火を打上げ、仙台の夏の夜空を彩ることができました。社会情勢を鑑みて例年とは開催形式が異なりましたが、50年以上継続して開催されてきた仙台七夕花火祭を地域愛の輪が広がりを齎^{もたら}す仙台の文化として未来へつなげたいと思っております。

今後も仙台青年会議所の活動に対しご協力をお願いすることがあるかと存じますが、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

子どもの未来創造事業GO OUT STUDY 8月9日

子どもが様々な体験を通してESDを学ぶGO OUT STUDY開催！

8月9日(月)「子どもの未来創造事業GO OUT STUDY」1日目を仙台市内にて開催しました。

本事業は、小学生とその両親を対象に、3日間でESD(持続可能な開発のための教育)要素を取り入れた各プログラムを通して、^{まち}仙台の未来を担う人材を育成します。

1日目は、ESDへの入り口として持続可能な社会を分かりやすく学べる、SDGsゲーム「SDGs2030」を行いSDGsの理解を深めました。

また、東北大学大学院環境化学研究所より松八重一代教授をお招きして、1つの物を作るためにどれくらいの「ものやこと」が関わっているかを知る出前事業を開催し、物事のサイクルを考え、資源の限界について学ぶ機会としました。



第7回例会 8月10日

第7回例会 青年経済人として～^{まち}仙台を本気で考えよう～を開催しました！

8月10日(火)第7回例会(7月後半例会)青年経済人として～^{まち}仙台を本気で考えよう～を開催いたしました。本例会は、株式会社ボーダレス・ジャパン代表取締役副社長鈴木雅剛氏をお招きし、地域の課題を解決する具体例を、自社で行っているミャンマーでのソーシャルビジネスを事例に講演していただきました。

前半の講演では、青年経済人として関わっていく姿勢や原因を突き詰めて顕在化し、持続的な解決に向けた考え方や手法をご講演していただきました。後半は、メンバーの地域課題に対する考え方や取り組み方を発表してもらい、講師の鈴木氏から取り組みに対するアドバイスをもらうことで、参加者全員で考える機会といたしました。

なお、本例会は新型コロナウイルス感染予防対策の一環としてZoomを使用し、オンラインにて開催しました。



2021東北青年フォーラムin郡山 9月4日・5日

「2021東北青年フォーラムin郡山」開催

9月4日(土)、5日(日)の両日、日本青年会議所東北地区協議会主催、2021東北青年フォーラムin郡山 未来を切り拓け!～開拓者精神で共に奏でよう!東北六重奏～が開催されました。本年度の東北青年フォーラムは、新型コロナウイルス感染拡大によって、WEB配信での開催となりましたが、2日間にかけて、リーダーシップ、防災、意識改革をテーマにした3つのフォーラムが開催されました。



デリゲイツ壮行会！ 9月14日(火)

第34回国際アカデミーin仙台に国内参加者として行くメンバーの壮行会開催！

9月14日(火)第34回国際アカデミーin仙台に国内参加者として、仙台青年会議所から送り出すメンバーのために壮行会を開催いたしました。2021年度は、国際アカデミーに国内参加者として、事務局局長伊藤啓君、地域イノベーション創造委員会幹事今野円海君、2名を輩出いたします。壮行会では、開催地代表として参加する2人の健闘と成長を祈願して激励させていただきました。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染予防のため送り出しの挨拶のみとさせていただきました。



第34回国際アカデミーin仙台 オンライン国際交流プログラム 9月12日(日)

第34回国際アカデミーin仙台オンライン国際交流プログラム～SDGs for Future～を開催！

9月12日(日)に、国際アカデミー海外参加者招聘事業として、オンライン国際交流プログラムを開催しました。交流プログラムでは、仙台市内の高校生と海外の青年会議所メンバーをオンラインでつなぎ、お互いの国に関する相互理解を深めるセッション、そして、少数グループに分れてSDGsをテーマにディスカッションを行いました。

参加した高校にはSDGsを通し、世界各国が抱える課題について学び、海外参加者には自国の取組みを日本の若い世代に伝える機会となりました。

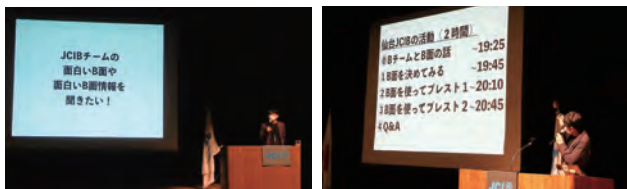


第10回例会（9月例会） 9月15日(水)

新しい価値観やコンセプトを生み出す 考え方や姿勢を学ぶ！

9月15日(水)第10回例会(9月例会)「Bから始める新しい創造～参加者全員で考える新しいアイデアを生んで実行するためのプロセス～」を開催しました。

本例会は、株式会社電通内にある電通Bチームの代表倉成英俊氏を講師としてお招きし、地域課題の解決に向けて、新たな発想や工夫を生み出す考え方を学ぶ機会として開催しました。



2021年度第2回通常総会 9月15日(水)

2021年度第2回通常総会開催のご報告

9月15日(水)仙台青年会議所2021年度第2回通常総会を開催しました。

総会において2022年度理事長予定者を始めとする次年度理事会構成メンバーの決定について満場一致にて可決承認されるとともに、2022年度から仙台青年会議所の運動指針となるLOM中期ビジョン2026についても満場一致にて可決承認となりました。

これにより、2022年度理事長予定者として八重樫司(やえがしつかさ)君が承認され、仙台青年会議所2022年度体制がスタートを切りました。



第34回国際アカデミーin仙台 9月20日(月)～24日(金)

第34回国際アカデミーを宮城県仙台市で開催！

2021年9月20日(月)～9月24日(金)に、第34回国際アカデミーを宮城県仙台市で開催しました。

国際アカデミーは、世界約80各国の青年会議所メンバーと日本各地青年会議所のメンバーが国際レベルで活躍するリーダーとなるためにトレーニングを行います。

本年度は新型コロナウイルスの影響により、開催地である仙台に集まった参加者とオンラインからの参加者が融合した史上初のハイブリッド形式での開催となりました。

コースリーダーを務めるパスカル・ディケ氏によるモジュールもナイジェリアからオンラインで配信され、現地とオンラインの参加者が同時に受講するニューノーマルなスタイルで国際アカデミーを開催しました。

また、仙台特有の歴史・文化を背景とする「伊達の精神」に触れるプログラム、防災・減災について考えるプログラムも行いました。



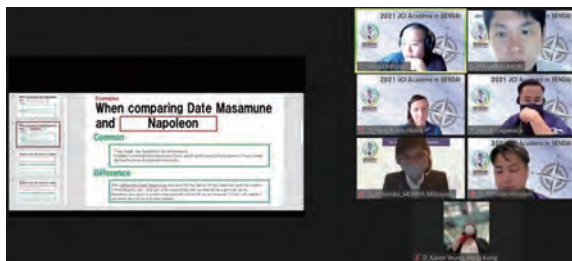
コースリーダーパスカル・ディケ氏によるハイブリットセミナー



開催地仙台プログラム

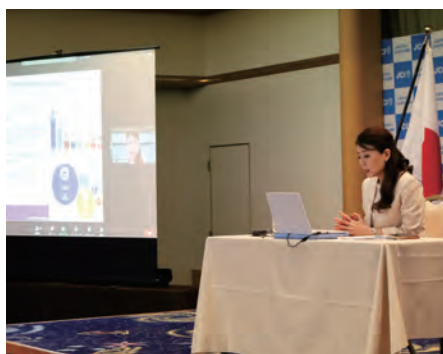
開催地プログラム1「伊達の精神性」Up To DATE ～Spirit of Date～

仙台藩伊達氏宗家第34代当主の伊達泰宗氏を講師として、仙台の開祖である伊達政宗公の精神や今日に受け継がれる文化に触れました。



開催地プログラム2「災害に備える」～Disaster Risk Reduction～

東北大学災害科学国際研究所の泉貴子准教授を講師に招き、世界の防災減災の取り組み状況から、仙台防災枠組の背景と仙台防災枠組で重要な2つの事項、社会のレジリエンスを高める必要性、さらに「ビルドバックベター」の理解と「マルチステークホルダー」の重要性について理解を深めました。



第70回全国大会とちぎ宇都宮大会 10月7日(木)～10日(日)

第70回全国大会
とちぎ宇都宮大会ハイブリット開催！

10月7日(木)から10日(日)の期間で栃木県宇都宮市において、公益社団法人日本青年会議所第70回全国大会とちぎ宇都宮大会が開催されました。本年度の全国大会は、「真に持続可能な輝ける未来へ」をテーマに開催され、各フォーラム及び70周年記念式典・2021年度卒業生を対象とした卒業式が行われました。

大会式典の部では、中島土次年度会頭予定者のスピーチや次年度全国大会開催地の発表を通じて、2022年度日本青年会議所の運動へ力強くバトンが渡されました。

そして、卒業式の部では、これまでのJC活動を振り返り、卒業生の功績を称えとともに、卒業生の想いが現役メンバーに託されました。

本年度の全国大会は、新型コロナウイルスの影響で初のハイブリット開催となりましたが、これまでにない新しい形で卒業生をお送りする素晴らしい全国大会となりました。



公益社団法人
仙台青年会議所

2021年度 新入会員のご紹介



大友 健也

有限会社 エフピーマネジメント



奥田 祐香

株式会社 BLUE willow



笠寺 洸

株式会社 ミクニ



川邊 大輝

エフビットコミュニケーションズ株式会社



菅野 麻耶

学校法人 支倉学園



小松 尚斗

株式会社 小松建設



佐久間 周平

YAC 税理士法人



佐々木 直貴

株式会社 Long Town



佐々木 瑞恵

有限会社 清野エージェンシー



佐々木 陽介

日本生命 相互会社



澤村 一真

串焼きバル幻



菅原 雄太郎

株式会社 ウイル動物病院グループ



菅原 亮

株式会社 菅誠建設工業



菅原 瑠維

合同会社 S・R・G



高橋 一也

株式会社 タートルコミュニケーションズ



廣瀬 幹春

ヴァンロード 株式会社

宮城県の廃車買取ならお任せ！
無料出張致します！



IZUMI
AUTOMOBILE
DEMOLITION

廃車の高価買取・中古部品・中古車販売

有限会社 **泉自動車解体**

営業時間：8時30分～17時30分（土曜17時）

☎022-255-9855

<https://www.izumikaitai.jp/>

戦略MGで会社を強くしませんか！

経営者、幹部の皆様
創業を検討の皆様へ



開発から約40年 1万社 500万人が受講

＝参加者募集中＝



来たれ初心者

戦略MGセミナー

開催日 12/2(木)・2/2(水)

時間 AM8:00～PM8:00

参加費 20,000円

特典 MG道場参加券1年間(12回)進呈！

「戦略MGセミナー」受講後は、「戦略MG道場」へ、目指せ100期！

戦略MGマネジメントゲームとは

- ①会社経営を、ゲーム感覚で学ぶ経営シミュレーションゲームです
- ②会社を設立し、設備投資・採用・仕入・販売・経理・決算を一人で行います
- ③専門知識不要、ゲームから導かれ、貸借対照表・損益計算書を作成します

特長は全体的経営思考を高め、戦略的な計数管理能力が身につきます。気づきが学び！

集まれ経験者

戦略MG道場

開催日 12/9(木)・1/18(火)

時間 PM1:20～PM8:00

参加費 1,000円

申込先 および開催会場

〒983-0868

仙台市宮城野区鉄砲町5-6

税理士法人 植松会計事務所 3F会議室

TEL : 022-297-2771

H.P : www.uema2-yume.com

Mail : yume@uema2.com

講師 公認インストラクター

税理士法人植松会計事務所皆様
全面的な運営支援を頂いています



NPO法人

夢実現支援隊



株式会社 ヤマトサービス

ヤマトサービス 足場

検索



太陽地所の賃貸物件

Soleil series

住まいを創り、住を創造する。



宮城県知事 (4) 第 5026 号

太陽地所株式会社

グループ企業 サイト工業株式会社

お客様と共に信頼の歴史

SIGHT



はぐくみの木の家